

令和8年9月11日

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
広報室

**第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）  
「JSCサポート拠点」を設置  
～スポーツ医・科学の知見で日本代表選手団を支援～**



このたび、日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL 理事長：芦立 訓）が設置するハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）は、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）において、日本代表選手団を支援するための「JSCサポート拠点」を設置し、選手のコンディショニングをサポートします。

大会期間中は、出場するアスリート、コーチ、スタッフが競技に向けた最終準備を行うためのサポート拠点（JSC サポート拠点）を名古屋とセントレアに設置します。また東京都北区西が丘の HPSC ではオンラインで映像分析サポートを実施し、現地拠点と一体となり大会期間中の選手をサポートしてまいります。つきましては、「JSC サポート拠点」の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

JSC サポート拠点は、スポーツ庁委託事業『ハイパフォーマンス・サポート事業』の一環として、JSC が設置するものです。

■ JSC サポート拠点

1. 設置場所  
名古屋拠点とセントレア拠点の2箇所に設置
2. 開設期間  
名古屋拠点：令和8年9月12日（土）～令和8年10月4日（日）  
セントレア拠点：令和8年9月16日（水）～令和8年10月4日（日）
3. 利用対象  
日本代表選手団競技団体の選手、コーチ、サポートスタッフ

〈続きあり〉

## ■ ハイパフォーマンススポーツセンター長 久木留 毅 コメント

JSC は、第 20 回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）に向け、選手を第一に考えた最適なサポート体制を構築すべく、名古屋とセントレアに JSC サポート拠点を設置いたしました。本拠点では、競技に向けた最終準備を行ううえで必要となるスポーツ医・科学等の機能を提供し、選手が安心してパフォーマンス向上に集中できる環境づくりを目指しております。

また、トレーニングからリカバリー、さらには試合に向けた最終調整までを一体的に行うことができる“ワンストップ”の拠点とすることを重視してまいりました。これにより、選手の負担を最小限にしつつ必要な支援を受けられる体制を整えております。

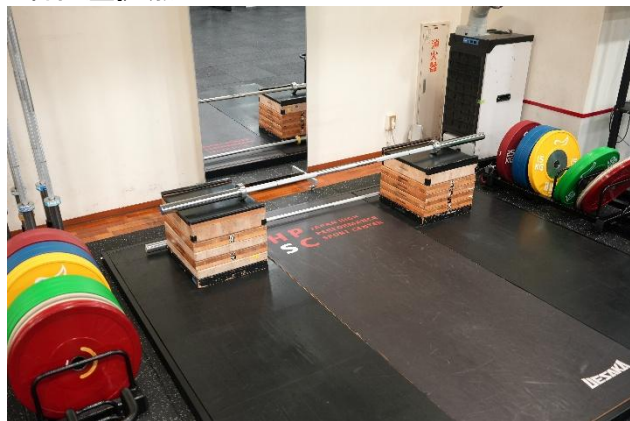
準備にあたっては、JSC がハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）で蓄積してきた知見を基盤とし、日本オリンピック委員会（JOC）、日本パラリンピック委員会（JPC）およびスポーツ庁と連携しながら、科学的かつ実効性の高い支援内容を検討してまいりました。

さらに、各競技団体（NF）の要望に最大限応えるべく、運営においては柔軟性を重視し、競技特性に応じた支援が可能となる体制を確保しております。JSC として、選手が大会で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、引き続き全力で支援してまいります。

## ■ サポート機能

| サポート名       | サポート内容 |                      |
|-------------|--------|----------------------|
|             | 名古屋拠点  | セントレア拠点              |
| トレーニングジム    | ●      | —                    |
| ケア・ベッド      | ●      | ●                    |
| 交代浴         | ●      | ●                    |
| サウナ・プール     | ●      | —                    |
| 補食提供        | ●      | ●                    |
| 心理相談        | ●      | ●<br>名古屋から駆けつけ/オンライン |
| リラックススペース   | ●      | ●                    |
| ワークスペース（映像） | ●      | —                    |
| 救護室         | ●      | ●<br>名古屋から駆けつけ       |
| 会議室         | ●      | —                    |
| ランドリー       | ●      | ●                    |

## ■ 名古屋拠点



トレーニングジム



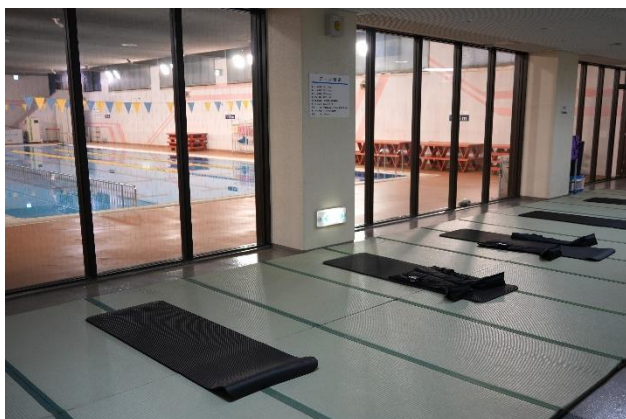
ケアエリア



交代浴



サウナ



セルフコンディショニングエリア



リラックススペース



ワークスペース（映像）



補食エリア